

学位取得に向けての親の関与：日米間の比較

ジアヴァンナ・ハンプトン

カリフォルニア州立大学モントレイ校

要旨

アメリカでも日本でも親は子供の将来と成功のため、大学教育に対して様々な信念や希望を持っている。アメリカと日本では親がどのように学位取得に向けて関与しているのか。このキャップストーンでは、日本とアメリカの両親は子供の学位取得に何を期待し、どのように子供の人生に関与しているのか。また、どのような文化的な要因が専攻を決める際に影響しているのか。そして、子供達に学位を取得させるために、アメリカと日本の親は何をどのようにサポートするのか、等の研究質問に焦点を当て研究した。アメリカ人30名、日本人30名にアンケート調査を行った結果、日本の親は子供が大学を卒業することを重視し、卒業しない場合は非常に落胆するが、アメリカの親は卒業するしないにかかわらず、子供へのサポートを大事にしていることがわかった。

はじめに

アメリカ人の両親も日本人の両親も子供に期待と支援を与えるが日本の両親はもっと強く期待と財政支援や住宅支援を与えるかもしれない。しかし、高校が一番大切な時間であるから、たぶん日本で人々は大学に入学することが大切ではないです。そして、アメリカと日本の教育は違うので日本とアメリカの両親が異なる方法の支援を与える。それとも、人は自分の文化が期待するように行動するという意味であろうか。両親の行動は子供に学位を取得に大きく影響しているのではないだろう。

1. 研究の重要性

東洋大学に留学した時、私は学位の取得についての親の態度に興味を持ち始めた。私は子供達の成功のために、親がどのような影響を与えているか、またそれはなぜかを研究した。

2. 研究質問

- 1) 日本とアメリカの両親は子供の学位取得に何を期待し、またどのように子供の人生に関与しているのか。
- 2) どのような文化的な要因が、学生の専攻を選択することに影響しているのか。
- 3) 子供達に学位を取得させるために、アメリカと日本の親はどのようなサポートをするのか。

3. 研究背景

3.1. アメリカと日本の学校組織

日本には国立大学と公立大学と公立短期大学と私立大学がある。アメリカの場合、州立大学と私立大学と地域短期大学と専門学校がある。日本で、入学後2年間は教養科目のほかにクラブや他の活動に力をいれる。そして、求人が少ないため大学院に行くことはそれほど大切でない、(2005、 文博・丸山)。 アメリカの場合、入学してから2年間は教養科目が求められる。そして、経営学大学院と医学専門学校に入るためには、GRE と MCAT の試験合格することが必要だ。日本もアメリカも大学に入学後2年間は教養科目のほかにクラブや他の活動に力をいれるがアメリカの生徒は教養科目に力を入れることが求められる、(Understanding the American Education, 2015)。

- 日本人のうち、93%の日本人は高校を卒業する。その内、53%の高校を卒業人は大学に入る。また、87%の大学生は大学を卒業する。アメリカの場合、75%の学生は高校を卒業するがその内、39%の高校を卒業人が大学に入る。また、53%の大学生が大学を卒業する、(<https://www.youtube.com/watch?v=yW7o5UltLhc>)。日本には、745の大学がある。しかし、アメリカには、4,599の大学がある。この情報からわかるように、日本の高校の卒業率はアメリカの高校の卒業率をわずかに上回った、(丸山 2004)。

- どのように大学は学生を選ぶか。アメリカで G.P.A、ACT、AP、TOEFL、SAT の試験を受けることができる。そして、どのように学生は大学入学試験を勉強するか。日本で、大学受験をする、(大学入学試験、2014)。また、日本とアメリカでは大学入試のシステムがとても違います。日本はセンター試験が行われ一度きりのチャンスしかありませんが、アメリカは色々なテストがあります。ですから日本の学生はそのチャンスにかけて予備校や塾に通う人が、おおいですが、アメリカ人は一人で勉強して入試に備えます、(丸山、2005)
- どのようにアメリカの大学生と日本の大学は専攻を選ぶか。アメリカの大学生に、大学生は多種の専攻から選ぶことができる。も、三年生までに、専攻を選ぶ。また、何度でも専攻を変えることができる、(Understanding the American Education, 2015)。日本の大学生に一流大学は専攻したい分野がある。さらに、大学入学試験の結果によりどの大学に入れるかが決まる。にも、入った専攻が嫌いでも、専攻は変えにくい。大学入学試験は学生の将来に影響する、(文博、2005)。日本は予め専門分野を決めて大学に入り、その専攻を変更することは難しいです。しかし、アメリカでは数多い専門分野がある上、専攻を変更するのはあまり難しくありません。日本は大学入試は将来を決めるものとしてとても大事です、(Higher Education in Japan 2010)。
- 日本人とアメリカ人がどのように大学に入学するか。アメリカの大学生に、大学入学は GPA と SAT の結果かどうかにかかっている。そして、何度も SAT の試験を受けるので GPA が良くなる。高校の目的は社会・仕事に必要な基本知識や能力を学ぶこと。さらに、補習と教科書と研究班がある。日本の大学生に、大学入学は入学試験の結果かどうかにかかっている。にも、高校三年生にとって大学受験は最も大きな関心事である。日本では高校での勉強の目的は大学受験に合格するためですが、アメリカは社会や仕事に必要な基本知識や能力を養うことです、(<https://www.youtube.com/watch?v=yW7o5UltLhc>)。

3.2. 大学生に対する保護者の態度や姿勢

アメリカの大学生に、両親からのご褒美が学生の勉強へのやる気につながる。両親のサポートは大学生の成功に繋がる。にも、大学ではモチベーションをあげることは大切としている。大学生の人格形成は両親の影響を受ける、(Winsler & Middleton, 2006)。
日本の大学生に、日本の親はしつけが厳しい。ご褒美はないが、親が望むルールがある。両親は成績にはあまり干渉しない。両親は普段あまり学業には関わらない。大学生に対する自尊心の態度と姿勢について、日本の親の態度はアメリカの親より厳しいと思う。それから、親は子供に自尊心を与えない、(宇治, 坂本, 足立, と北村, 2014)。

3.3. 子供の学歴に対する保護者の期待

アメリカの大学生に、大学での教育に非常に期待をしている両親は大学生の勉学やその成功を手助けする。大学での好成績は両親にとって不可欠。そして、低所得の親も期待は高い。さらに、高校学位だけでは子供は良い仕事を得にくい、(Davis-Kean, P. E. 2005)。でも、日本の大学生の場合、日本の教育システムで大学教育はあまり意味がない。子供が大学を卒業をしなければ、親は落胆する。にも、日本において、専門的な実務教育は一般的な大学教育より良いとされている。それで、高校卒業後、両親は子供に働く経験をしてほしいと思っている。子供の学歴に対する自尊心の期待に、大学での教育に非常に期待をしている両親は、大学生の勉学やその成功を手助けしているが子供が大学を卒業をしなければ、親は落胆します、(潮木, ム, 1997)。

3.4. 日本とアメリカにおいて、大学生にとっての保護者の役割とは何か

アメリカの場合、子供に能力と抑制心を与える。両親は子供に自信を与え、子供の中の肯定的感情を励ます。そして、両親は適度の財政支援を与える。だが、日本の大学生に、子供は親から経済面以外での支援を受けない。親は子供に干渉しないため77%の子供が宿題をする、(Oishi & Sullivan, 2005)。親の大半は子供の教育費を払う。大学は高校とは違い厳しい教育体制ではないので親やあまり心配しない。日本とアメリカにおいて、大学生にとっての保護者（ほごしゃ）の役割について、アメリカの親が子

供に自信を与えるのは、肯定的感情をうながすが、日本の場合、子供に肯定的感情を表すが親から支援を受けません、(2011、<http://youtu.be/WPW4Lawq6d4>)。

3.5. 大学生のストレスに関する両親の応答や関係性

大学生のストレスに関する両親の応答や関係性について、アメリカの大学生に、両親は子供の精神的サポートもする。ストレスの兆候を認識して、その原因を理解する。一緒に、ストレスを減らすための最善の行動をする。それで、89%の両親は運動とレクリエーション活動をする時間を作る (Emotional Health & Your College Student, 2008)。日本の場合、親から多くの支援を受ける学生は問題解決能力が乏しい。両親は子供の大学教育にそれほど関わらない。日本の親と子供は多くのストレスに耐えることができる。そして、“頑張れ”の言葉が子供を働かせる。大学生のストレスに関する両親の対応と関係性について、日本の親から多くの支援を受ける学生は問題解決能力が乏しいですが、「頑張れ」という言葉を使って子供を励ます。これによって、日本の親と子供は多くのストレスを取り除くことができる、(露田・博美, 2002)。

5. 結果

5.1. 研究質問1：日本とアメリカの両親は子供の学位取得に何つを期待し、またどのように子供の人生に関与しているのか。

この研究質問に対し、いくつかの質問をした。両親にとってあなたが大学の学位を取得することは、どのように大切を評価してもらった。とても大切は非常に高いからいいえの非常に低いまでである。

図 1:大学の学位を取得することはどの程度大切か

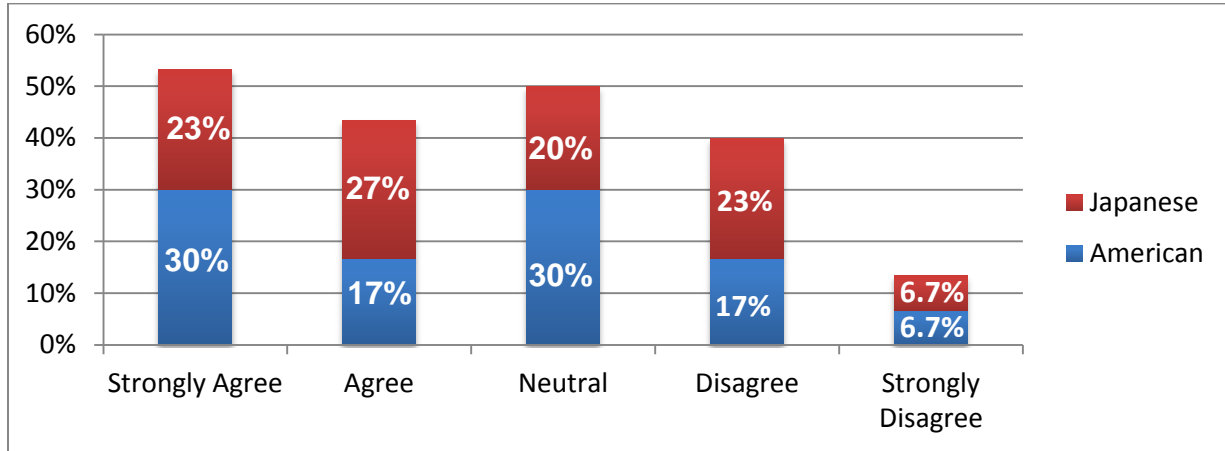
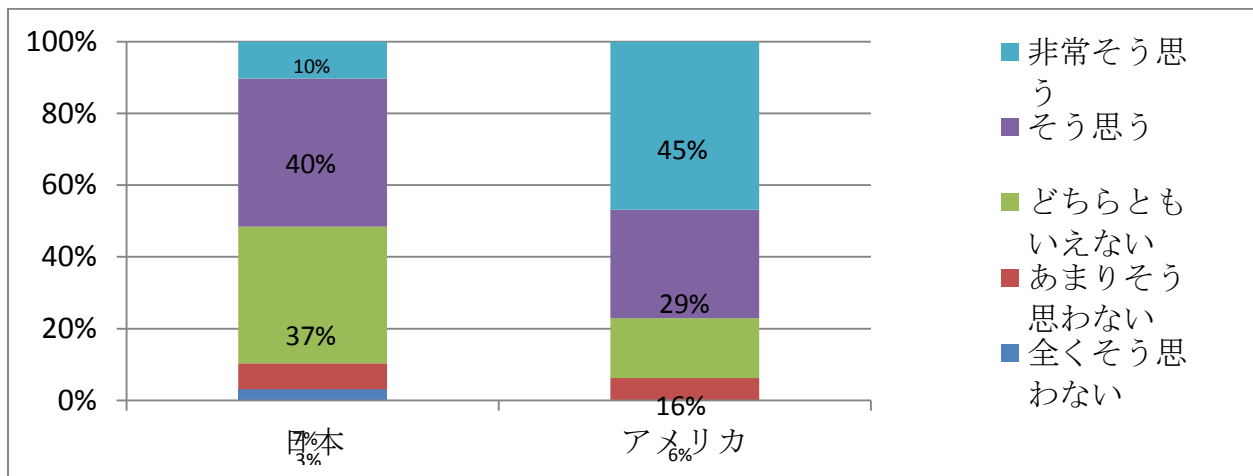


図 1 からわかるように、アメリカ人の両親も日本人の両親も学位が必要と考えていますが、日本の両親の方が非常に少しそう思っているようです。

5. 2. 次の質問は学位が将来就く仕事の選択肢を増やすかどうかである。答えは非常そう思うから全くそう思わないまで 5 段階である。

図 2 : 学位が私が働きたいと考える仕事に関わっている



74%のアメリカの大学生は学位が将来就く仕事の選択肢を増やすと考えるのに対し、日本の大学生は 50%がそう思うと答えました。

5.3. この図は大学生の進路について。両親は私が考えている進路とは別の希望を持っている。かどうか、アンケートの結果をまとめにものである。

図 3：両親は私が考えている進路とは別の希望を持っている

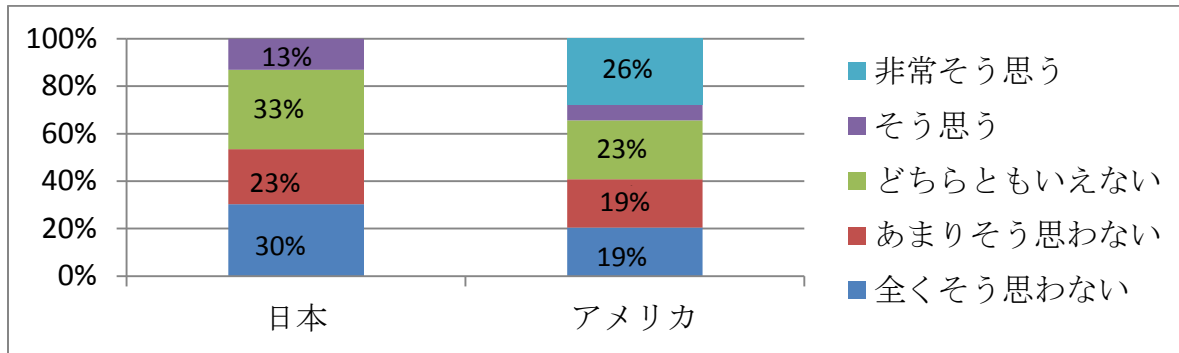


図 3 について説明するで、日本の学生はアメリカの生徒より、親と同じような進路を考えている。また、卒業の進路に関しては日本の学生はアメリカの生徒より、親と同じような進路を考えているようです。

5.4. 次に卒業後の進路について、「両親は私が就くべき仕事を用意している」を「私は卒業後自分が決めた進路に進む」の二つの質問がある。結果を図 4 と図 5 にまとめた。

図 4：両親は私が就くべき仕事を用意している

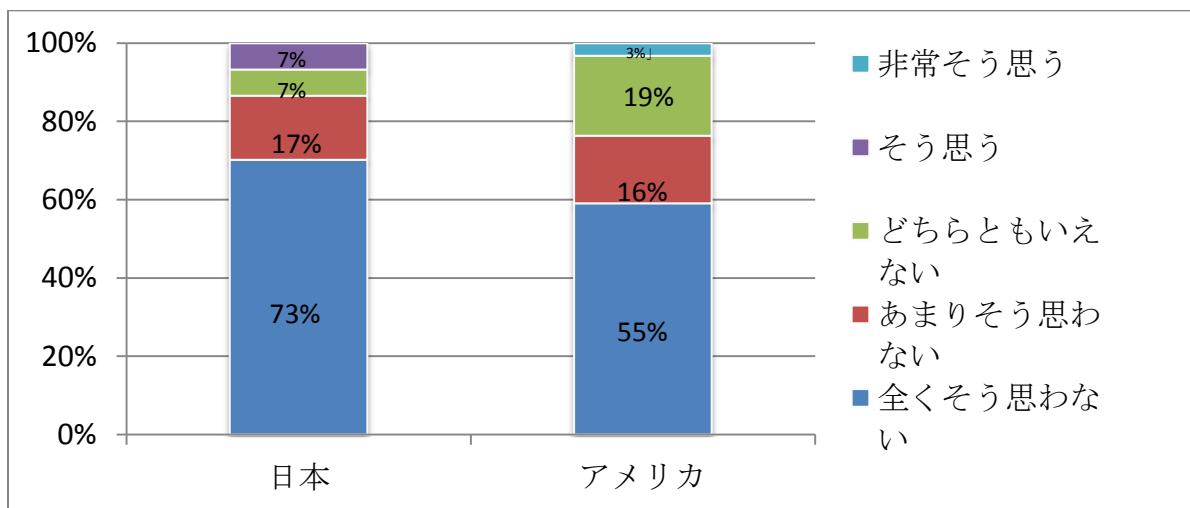


図 5：私は卒業後、自分が決めた進路に進む

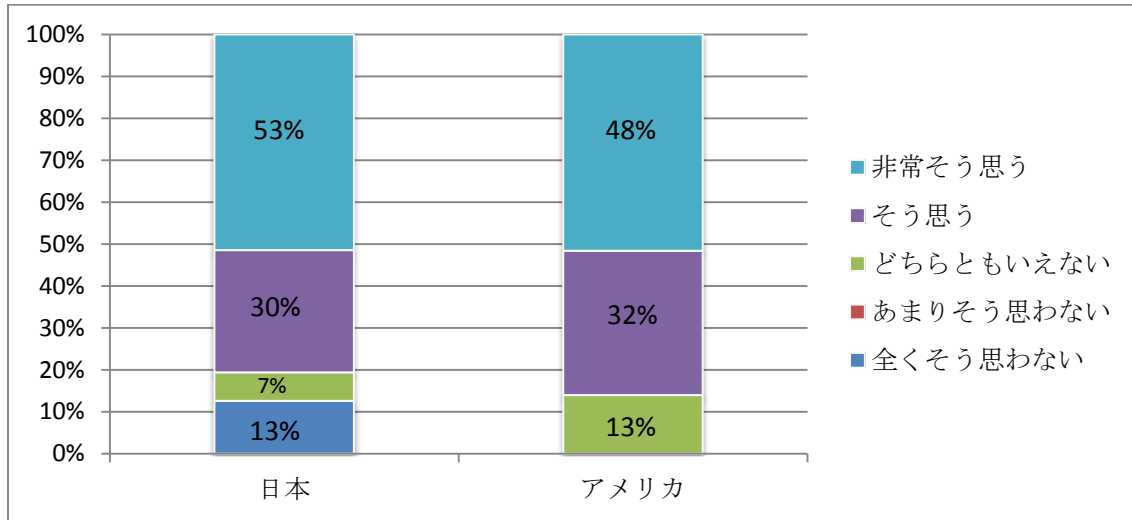
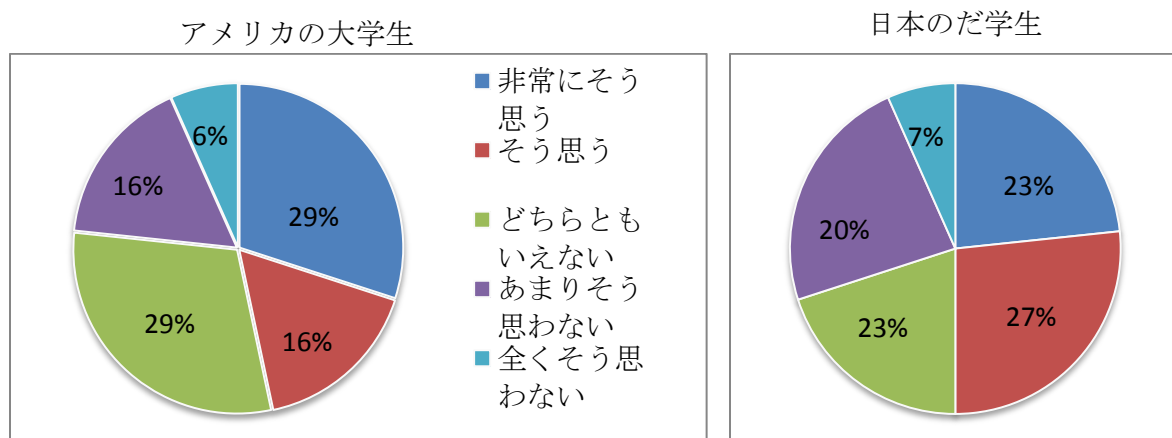


図 4 と図 5 からわかるように、日米共親は子供がつく仕事にはかかわらず子供は自分で決める。二つの図で、親は子供に計画を与えないので生徒は卒業した後、自分で将来の計画を始めます。

5.5. 次の質問は自分が親の高い期待に応える必要があるかどうかについてである。結果を図 6 に示したである。

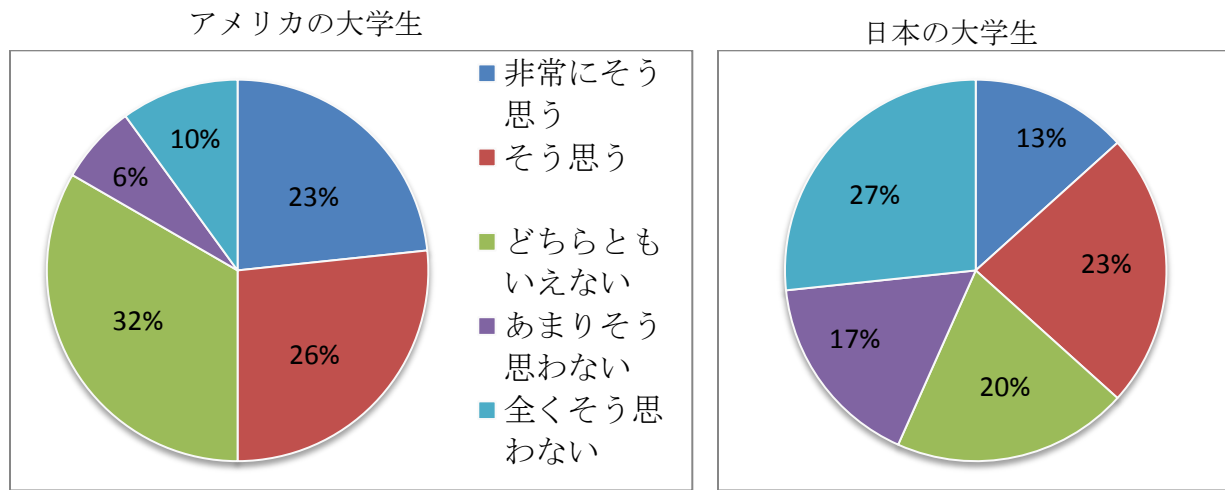
図 6：私は両親の高い期待に応える必要がある



このグラフでは、日本人の親はアメリカの親より子供に期待をしていることがわかる。親の期待に関しては日本人の親はアメリカの親より子供に期待をしていることがわかります。

5.6. 次に自分が大学を辞めても両親は受け入れてくれると思うかどうかについてたずねた。

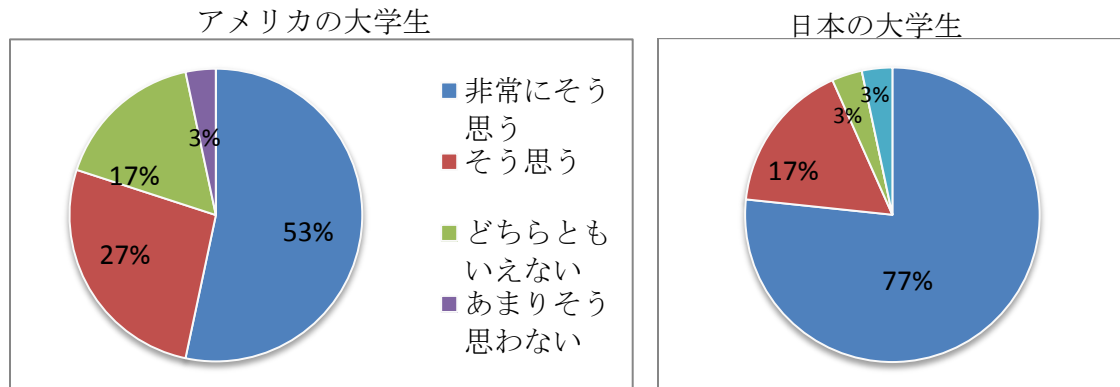
図 7：私が大学を辞めても、両親は受け入れてくれる



グラフが示したとおり、大学を卒業しないことは、日本人の両親には認められにくいようだ。

5.7. 次に、両親は自分がベストを尽くすことを望んでいると思うかどうかについて尋ねた。

図 8. 私は自分のベストを尽くす必要がある。それが、両親が私にして欲しいことだと思う



日本人の学生の内 77%が親は自分がベストを尽くすこと願っていると思っているがアメリカの学生の内 53%親は自分がベストを尽くすこと願っている。日本の内はアメリカの内より、24%が多かった。

5. 8. 次に自分が大学に行く必要はなかったと思うかどうかについて質問した。

図 9 : 私が大学に行く必要はなかった

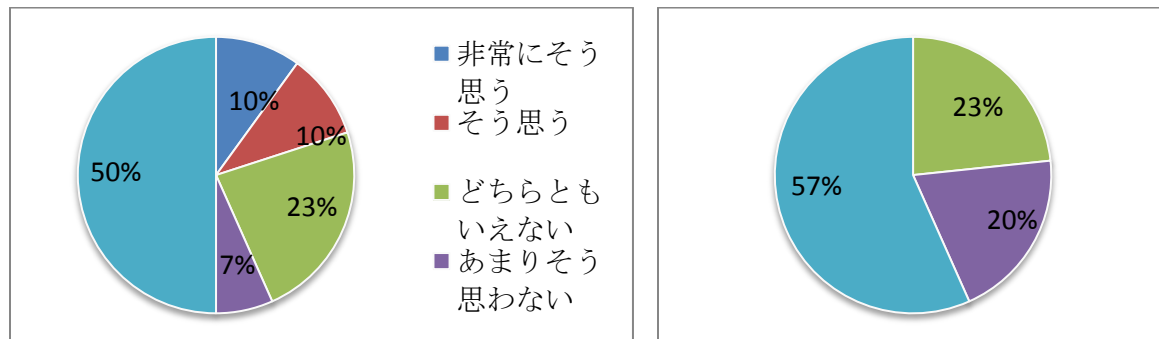
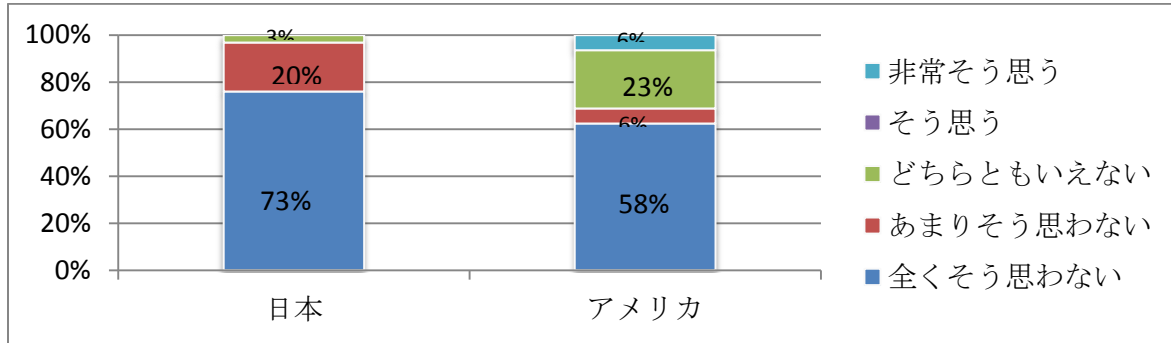


図 9 からわかるように、20%のアメリカの学生は大学に行く必要はなかったと答えたが、日本の学生は皆大学に行く必要があると答えた。このグラフからわかるように、アメリカ人も日本人も大学に行く必要性を感じている。

6. 0. 研究質問 2 : どのような文化的な要因 (よういん) が学生の専攻選択に影響しているでしょうか。

専攻の選択に関して、両親が自分の専攻を決め自分はその決定に満足していないかどうかについて尋ねた。

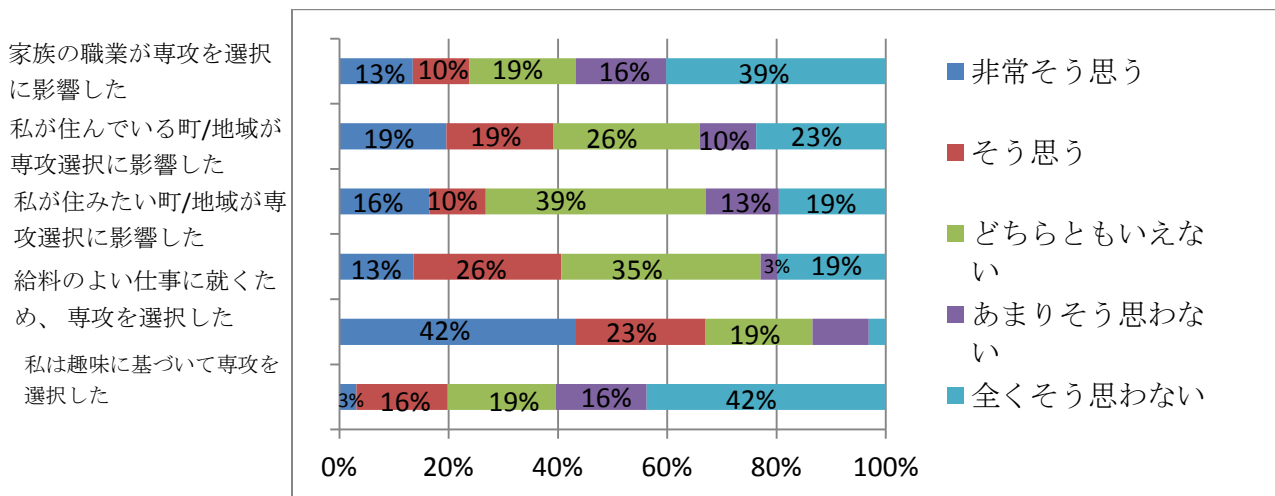
図 10. 両親が自分の専攻を決め、自分はその専攻に満足していない



このグラフからわかるように日米とも、多くの学生が自分で専攻を決定し、親は大学生が専攻を選ぶことにあまり影響していない。

6.1. 次に専攻を選択する際に決め手となった要因は何か質問したか。アメリカ人の学生の回答を図 11 に示した。

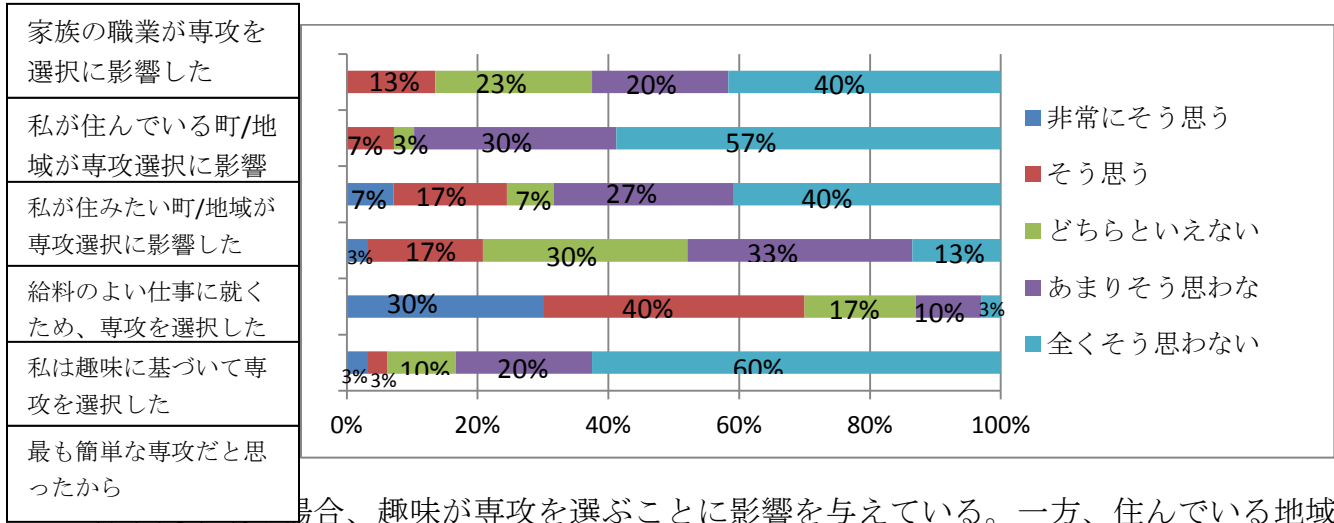
図 11. あなたが専攻を選択する際に決め手となった特徴はなんですか



アメリカの学生は専攻を選択する際に決め手となった特徴は先ず趣味、そして住んでいる地域、給料のいい就職の順で専攻の選択を決める上に影響していることがわかりました。

また、図 12 に日本人学生の回答を示した。

図 12. あなたが専攻を選択する際に決め手となった特徴はなんですか



場合、趣味が専攻を選ぶことに影響を与えている。一方、住んでいる地域の影響は、アメリカに比べて低い。

7.0. 質問 3：子供達に学位を取得させるためにどのようにそして何をアメリカと日本の親はするのか。

学校について悩みがある時、両親に相談するかどうか質問した。

図 13：あなたは学校について悩みがあるとき、両親に相談しますか

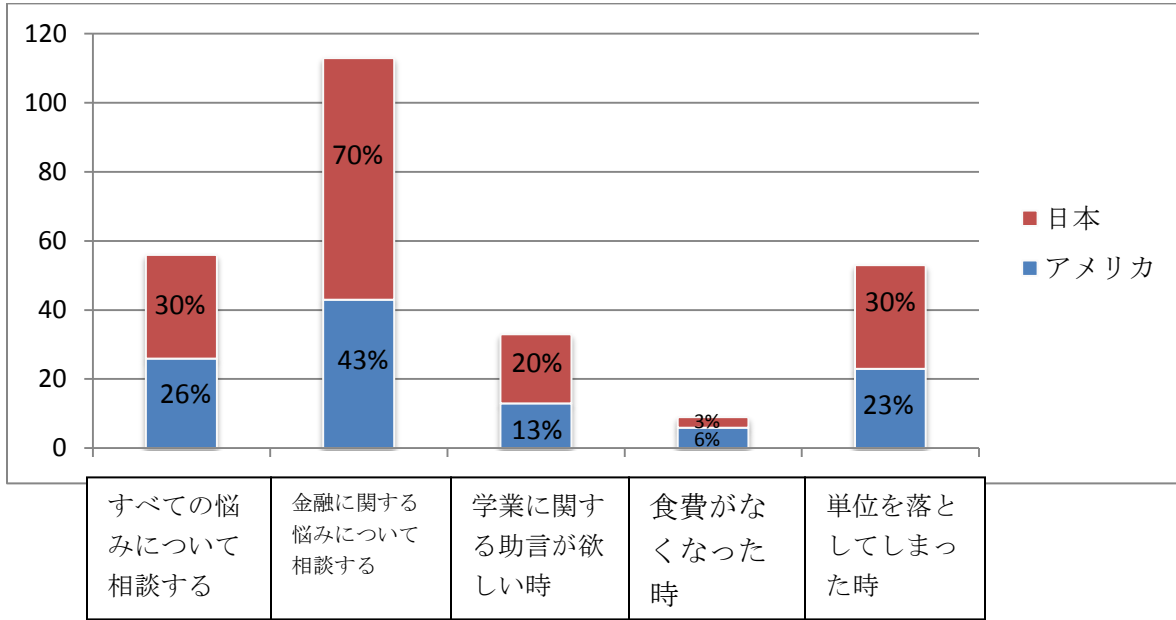


図 13 からわかるように、日本の学生の方がアメリカより経済面についての悩みを親に相談する。

7.1. 次にどんな支援と家族から受けているかについて質問した。尋ねたのは学業に関する支援と財政支援と住宅支援と自尊心に関する支援である。

図 14：あなたは、どのような支援を家族から受けていますか

アメリカの大学生

日本の大学生

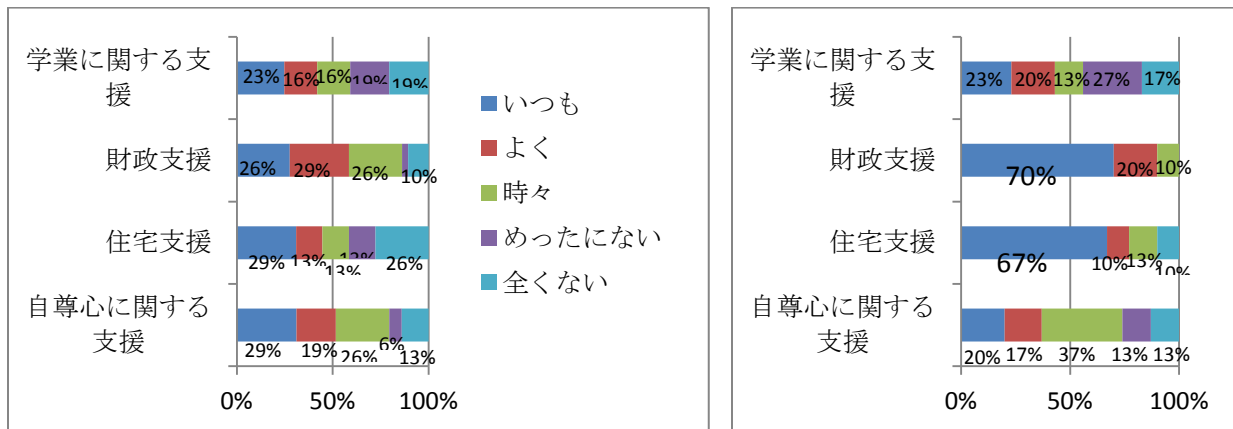


図 14 が示すように、日本の親の方がアメリカより二倍以上財政援助と住宅支援をしている。最後の図で日本の大学生の財政支援と住宅支援がわずかに上回りました。アメリカの親は子供に全てのサポートを与えているが、日本の親は大学生により財政支援と住宅支援により集約してのサポートを与えることがわかる。

8. おわりに

子供の教育に、日米の親は関与する。日本の両親は子供に良い経歴を残してもらうことを期待し。アメリカの両親は子供に財政的に独立して欲しいと考える。そして、日本の親はアメリカの親より学位取得を重視している。親が子供にする援助は日本は住居や経済面だがアメリカは学位取得の過程でも動機づけやモラルサポートに力をいれる。日本の両親はアメリカの両親より子供に期待するがアメリカの両親は日本の両親よりサポートと支援をしている。

9. 研究の限界

研究限界について、この研究は30人の日本の大学生と30人のアメリカの大学生に限られて、私の知っている人々だけが調査対象である。また、この研究は全国レベルではなく、18歳から24歳までの大学生を対象に調査しただけである。

10. 将来の研究課題

将来研究のために、私さらなる研究に私はどのように大学院研究がもっと注目を持って来るに調査して、大学院研究の限界を研究しているに調査して、今、大学を卒業し、社会人である人の結果に調査して、日本とアメリカで大学を中退するの結果に調査して、高校教育での異なる両親の態度に調査します。

11. 考察

日本の親もアメリカ親も子供の学位取得を願っていますがそのサポートの仕方が違う。教育システムの違い、社会の構造、社会の期待が親や学生の考え方に深く影響している。日本の大学では学生は卒業できることを前提にしているためあまり不安がないようだったがアメリカではその逆で卒業に必死である。日本の大学生は精神面でもとて

も強い。日本で大学に行くまでの経験が関係しているのではないか。だからアメリカでは親のモラルサポートが大学に入っても必要なのかもしれない。日米の専門分野の選択には自分で決める。専門分野を簡単に変更できるアメリカもいいが変更せず卒業が予定通りできる日本のシステムも良い。

参考文献

雑誌:

- Yuh Huey, J., & Fukada, H. (2002). Stress, Health, and Reciprocity and Sufficiency of Social Support: The Case of University Students in Japan. *Journal Of Social Psychology, 142*(3), 353-370.
- Ullrich-French, S., Smith, A. L., & Cox, A. E. (2011). Attachment relationships and physical activity motivation of college students. *Psychology & Health, 26*(8), 1063-1080. doi:10.1080/08870446.2010.530123
- Zhan, M., & Sherraden, M. (2011). Assets and liabilities, educational expectations, and children's college degree attainment. *Children & Youth Services Review, 33*(6), 846-854. doi:10.1016/j.childyouth.2010.12.006
- Oishi, S., & Sullivan, H. W. (2005). The Mediating Role of Parental Expectations in Culture and Well-Being. *Journal Of Personality, 73*(5), 1267-1294. doi:10.1111/j.1467-6494.2005.00349.x
- (2008) "Emotional Health & Your College; Transition Year, Student." [Http://www.transitionyear.org/_downloads/parent_pdf_guide](http://www.transitionyear.org/_downloads/parent_pdf_guide). Web. 8 Dec. 2014.

本:

- Vishtak, O. V. (2004). The Motivational Preferences of College Applicants and Students. *Russian Education & Society, 46*(8), 66-73.
- Davis, K. D., Winsler, A., & Middleton, M. (2006). Students' Perceptions of Rewards for Academic Performance by Parents and Teachers: Relations With

Achievement and Motivation in College. *Journal Of Genetic Psychology*, 167(2), 211-220.

Dennis, J. M., Phinney, J. S., & Chuateco, L. I. (2005). The role of motivation, parental support, and peer support in the academic success of ethnic minority first-generation college students. *Journal of College Student Development*, 46(3), 223-236.

Allen, D. (1999). Desire to finish college: An empirical link between motivation and persistence. *Research in higher education*, 40(4), 461-485.

Uji, M., Sakamoto, A., Adachi, K., & Kitamura, T. (2014). The Impact of Authoritative, Authoritarian, and Permissive Parenting Styles on Children's Later Mental Health in Japan: Focusing on Parent and Child Gender. *Journal Of Child & Family Studies*, 23(2), 293-302.
doi:10.1007/s10826-013-9740-3

潮木, ム。(1997)。日本大学院教育と日本大学院教育の問題。高等教育, 34(2), 237-244。

Davis-Kean, P. E. (2005). The Influence of Parent Education and Family Income on Child Achievement: The Indirect Role of Parental Expectations and the Home Environment. *Journal Of Family Psychology*, 19(2), 294-304.
doi:10.1037/0893-3200.19.2.294

Internet Sources

(2012). What Roles Do Parent Involvement, Family Background, and Culture Play in Student Motivation. Center on Education Policy. *Graduate School of Education and Human Development*. George Washington University.

(2010). *Wikipedia*. Higher Education in Japan. University Entrance. Accessed 13 March, 2015.

文博・丸山。(2005)。日本で高等教育制度の概観。第1章。ウェブ経由でアクセスされる: 2015年3月23日。から <http://www.zam.go.jp/n00/pdf/nk001001.pdf>

(April, 2014). My Future.com. Taking College Entrance Exams. Department of Defense. Accessed 24, March, 2015. From <http://www.myfuture.com/schools/articles/taking-college-entrance-exams>

(2015). Study in the USA. Understanding the American Education System.
Accessed 24, March, 2015. From
<http://studyusa.com/en/a/58/understanding-the-american-education-system>

Wikipedia. (2015). Higher Education in the U.S. Wikipedia. Accessed 24, March